

東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo "Celebration of Voices"



合唱の祭典

14世紀のカノン：夏は来たりぬ (1310)

A canon of the 14th century: Summer is icumen in

ジャヌカン：鳥の歌 (1528)

Clément Januquin: le Chant des Oyseaulx

ラッソ：エコー (1581)

Orland di Lasso: O là, O che bon, ebo

モーリー：今や五月 (1595)

Thomas Morley: Now is the month of maying

バンキエーリ：動物たちの音楽会 (1608)

Adriano Banchieri: Contraponto bestiale alla mente

アルヴォ・ペルト：マニフィカト (1989)

Arvo Pärt: Magnificat

久石 譲：かぐや姫の物語

～女声三部合唱のための～ (2015, 世界初演)

Joe Hisaishi: Kaguyabime no monogatari

[柴田南雄 生誕100年・没後20年]

柴田南雄：追分節考 (1973) *尺八：関 一郎

Minao Shibata: Oiwakebushi-ko

NEW東京混声合唱団愛唱曲集「鳥唄」(若林千春編曲) **ピアノ：若林千春

となりのトトロ／鳥唄／いつも何度でも／世界の約束／翼をください

arrangement by Chiharu Wakabayashi

大谷研二 (指揮)

Kenji Otani, conductor



若林千春(ピアノ)**
Chiharu Wakabayashi, piano



関 一郎(尺八)*
Ichiro Seki, shakuhachi

共演：長野市民合唱団コールアカデミー
Guest: Nagano Academy Choir

7/24 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)

長野市芸術館メインホール *Nagano City Arts Center Main Hall*

全席指定 S席 ¥4,000 A席 ¥3,000 B席 ¥2,000 (税込)

NCACチケットオンライン (インターネット販売) <https://www.nagano-arts.or.jp/>

NCACチケットセンター TEL.026-219-3191 (10:00~19:00/火曜定休)

チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード: 293-911) / ローソンチケット TEL.0570-000-407 (Lコード: 30223) / ながの東急プレイガイド [窓口販売]

主催：ながのを芸術で彩る実行委員会

共催：長野市／一般財団法人長野市文化芸術振興財団／信濃毎日新聞社

後援：長野県合唱連盟／北信合唱連盟

企画制作・お問合わせ：アートメントNAGANO事務局 (一般財団法人長野市文化芸術振興財団内) TEL.026-219-3192

※出演者・曲目・その他に変更が生じる場合がございます。※不可抗力による公演中止の場合をのぞき、チケットの払い戻し、他公演との交換はいたしません。

※未就学児のご入場はご遠慮いただきます。※駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

合唱の祭典

アートメントNAGANO提唱者である久石譲の作曲スタイルのひとつであるミニマル・ミュージックの原点は、中世・ルネサンス期の古楽曲に通じるとも言われています。その原点を探るとともに、久石譲作曲《かくや姫の物語》の世界初演、長野県民謡を素材にした合唱のためのシアター・ピース《追分節考》や誰もが知っているポピュラー・ソングまでをラインナップ。国内屈指の混声合唱団との呼び声高く、2016年には創立60周年を迎える東京混声合唱団により、合唱の素晴らしさをご堪能いただけます。市民合唱団コールアカデミーとの初共演も実現。ピアニストは長野市出身の若林千春さんです。



東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo

1956年、東京芸術大学声楽科の卒業生により創設された日本を代表するプロ合唱団。コンサートの開催を演奏活動の中心に置き、広範な分野の合唱作品の開拓と普及に取り組んでいる。

東京、大阪での定期演奏会、各地での特別演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間200回の公演のほか、レコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。

レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた207曲を数える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品までと全合唱分野を網羅している。

田中信昭(桂冠指揮者)、山田和樹(音楽監督)、ヴォルフガング・マウラー(首席客演指揮者)、松原千振(正指揮者)、大谷研二(指揮者)、松井慶太(コンダクター・イン・レジデンス)、伊藤翔(コンダクター・イン・レジデンス)、水戸博之(コンダクター・イン・レジデンス)、山田茂(副指揮者)など、多彩な指揮者陣を擁している。

文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、創立20周年企画「合唱音楽の領域」によるレコード・アカデミー賞などを受賞している。1996年より日本を代表する芸術団体として「文化庁特別重点支援」の指名を受けている。2007年、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞を受賞。2010年7月にフィンランド公演を開催し絶賛を博した。2016年、創立60周年を迎える。

<http://toukon1956.com> (ホームページ)

<https://twitter.com/toukon1956> (ツイッター)

<http://www.facebook.com/tokyokonsei> (フェイスブック)

長野市民合唱団コールアカデミー

Nagano Academy Choir

管弦楽を伴う大曲を歌おうと長野市周辺の合唱団が大団結、1973年に誕生して満43年。山本昇氏、故・村谷達也氏の薫陶を経て、現在の常任指揮者は、阿部純氏。これまでに邦人作品、身近な合唱曲の他、「メサイヤ」(1974、1978)、「マイ受難曲」(1980)、「モーツァルト・レクイエム」(1977、1991)、「ドイツ・レクイエム」(1986、1993)、「ヨハネ受難曲」(2013) 等を取上げてきた。

大谷研二 (指揮)

Kenji Otani, conductor

神奈川県生まれ。80年に武蔵野音楽大学を卒業後、東京混声合唱団に入団。83年ヨーロッパに留学。主にスウェーデン、ドイツ、イギリスでE.エリクソン、H.リリング、W.シェーファーに師事。フランクフルト音楽大学合唱指揮科を卒業、ディプロマを取得し、89年帰国。90年度村松賞受賞。

中世から現代に至る色彩豊かな作品の紹介と流麗な指揮によって高い評価を受けている日本を代表する合唱指揮者の一人である。現在、NHK東京児童合唱団常任指揮者、東京混声合唱団指揮者、活水女子大学音楽学部学術研究所教授。2010年4月より、NHK-FM「ビバ!合唱」のDJを務めている。



若林千春 (編曲/ピアノ)

Chiharu Wakabayashi, arrange & piano

長野市生まれ。みずがめ座、O型。東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院作曲課程修了。作曲を、石冢真礼生・松村禎三・浦田健次郎・竹内邦光の各氏に師事。第65回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽作品)第一位および安田賞受賞。第1回東京文化会館舞台芸術作品募集最優秀賞受賞。第1回洗足現代音楽作曲コンクール第1位受賞。現代音楽フェスティバル&セミナー「秋吉台の夏」招待作曲家・招聘講師として、講演と委嘱作品の初演を行う。現在までに、8回の自作による個展と、2回のピアノリサイタルを開催。

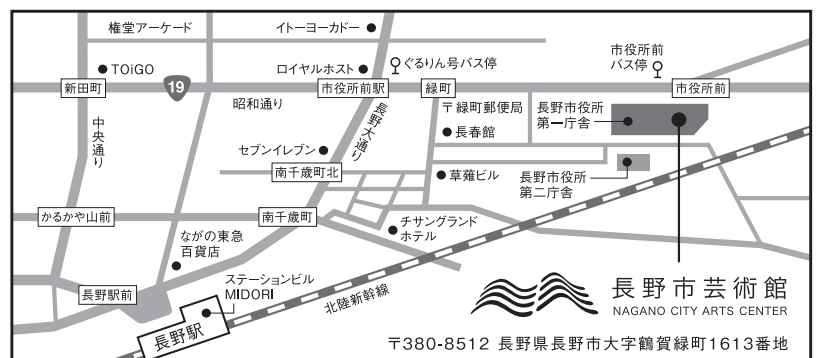
東京芸術大学、同附属高校、相愛大学講師、神戸女学院大学講師を経て、現在、滋賀大学教育学部教授、京都市立芸術大学音楽学部講師。2007年滋賀県芸術奨励賞受賞。



関 一郎 (尺八)

Ichiro Seki, shakuhachi

神戸商科大学卒業後、本格的に琴古流尺八を横山勝也氏に師事する。NHK邦楽技能者育成会18期卒業。1975年ハンムジックフェスティバル「日本伝統楽器による現代演奏コンクール」独奏の部、第一位優秀賞受賞。東京混声合唱団のアメリカ公演(1987年)、ヨーロッパ公演(1997年、2000年)、カナダ公演(2002年)においても「追分節考」を演奏し好評を博す。栗友会合唱団、樹の会等とも「追分節考」を数多く演奏する。近年Jordi Savall(ビオラダガンバ奏者)が企画する西洋古楽器による公演「フランシスコ サビエル/東洋への道」に参加し2005年よりヨーロッパで8回公演、2015年はザルツブルグ音楽祭に参加する。また作曲の分野でも活躍しており1995年及び99年には文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞。第1回国立劇場作曲コンクール入選(1998年)。第2回国立劇場作曲コンクールに優秀作品賞受賞(1999年)。



長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER
〒380-8512 長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地

この公演についてのお問い合わせ：

アートメントNAGANO事務局(一般財団法人長野市文化芸術振興財団内) Tel.026-219-3192